

令和になって初めての新春です。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

始業式の話

3学期のスタートは、2名の欠席と2名の転出があり269名での始業式になりました。令和の「令」には“美しい”という意味があるが、ふだんのあたりまえのことをがんばる姿にも“美しさ”があるという話をしました。(NHKの放送では、この部分ではなくあとの部分が映りました)



保護者・地域の皆様には引き続きご支援よろしくお願ひいたします。

職員の変動等について次のとおり報告します。

○特別支援教育支援員の変動

山田由香が退職し、新しく眞田(さなだ)正子が14日より着任します。

○教員の変婚に改姓

南部珠奈が昨秋変婚し、「椎原(しいはら)」に改姓しました。子どもたちには、きりのいいところで、この始業式で発表し、呼び方を変えることとしました。



報道の取材で緊張の3年生



新しいドリルなどがんばるぞ1年

の行動目標にてらして自己評価したものも合わせて分析し検討する「自己評価」をすすめてきました。

さらに2月に学校評価委員さんにアンケートの数値や分析結果も参照いただきながら評価や助言をうける「学校関係者評価」をすすめます。

今回は、その1として、保護者アンケートの集計を裏面に掲載させていただきます。3年間の経年変化でみると、低下気味なのは次の3点です。

- ①学校の変組みの4のあいさつのこと
- ②同じく6の読書のこと
- ③家庭の様子6の基本的な生活習慣のこと

①については文章でも数人の方から意見をいただき、教員の変り返りでもよくできる場面とそうでない場面の両方があり、指導を深める必要があります。

②について、図書ボランティアさんの変組みや環境整備もさらにグレードアップしてもらっています。朝の読書の時間もより確実に取り組めるように教員が寄り添う態勢を深めています。また図書室の利用者数も増えている状況もあります。しかし、これまでも書いてきたことですが、全国的な青少年の読書離れに歯止めがかからないのと本校の児童も同様の状況です。

③については児童アンケートの結果もあわせて考察を次号に書かせてもらいます。

これら以外も含めて、アンケートの回答は真摯にうけとめ来年度での改善に向けて努めていきたいと思ひます。

児童アンケートの結果、保護者のみなさんからの文章でのご意見のおもなものについて、改善の方向性などを次号以降に書かせてもらいます。

ウラ面あり

学校評価について その1

11月にはお忙しい中、アンケートにご協力をいただきありがとうございました。その後、児童アンケートの結果や教員が学校

